

図9 降雪現象の初日(実線), 終日(破線)の分布

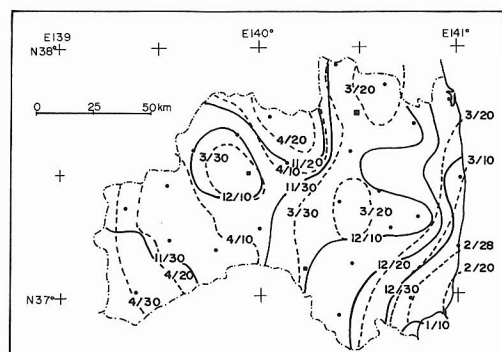


図10 積雪の初日(実線), 終日(破線)の分布

日頃となっている。奥羽山脈の西部, 会津地方では主に季節風によって降雪がもたらされ, 奥羽山脈の東部特に太平洋岸では, 南岸低気圧によって降雪がもたらされることが多い。降雪日数も会津地方では100日以上, 中通り地方では60日前後, 太平洋岸では20日前後と西部程多く, 東部程少なくなっている。この降雪現象の終日の平年日を第9図に示す。太平洋岸では3月20日頃, 中通り地方では3月30日頃, 会津地方では4月10日頃, 山岳地帯では4月20日頃となっている。すなわち, 福島県内の降雪の初日も, 終日もおよそ西部と東部で1ヶ月の隔りがある。

さらに, 積雪状態になる初日と積雪状態の終る終日の分布を第10図に示す。積雪の初日は山岳地帯など, 最も早い所で11月30日, 最も遅い太平洋岸で12月30日と, 約1ヶ月程度の隔りがある。積雪の終日は, 最も早い太平洋岸で2月20日頃, 最も遅い山岳地帯で4月30日頃と約2ヶ月以上もの隔りがある。

6. 霜の初日と終日の分布

霜の初日と終日の1941年から1970年までの平年日の分布を第11図に示す。霜の初日は奥羽山脈, 阿武隈山地, 北関東山地などの山岳地帯で10月20日頃と他の地域に比べて早く, 会津地方, 中通り地方では10月30日頃, 太平洋岸では11月10日頃となっている。この分布は, ほぼ冬季の平均気温分布に対応し, 気温の低い所程早く出現している。

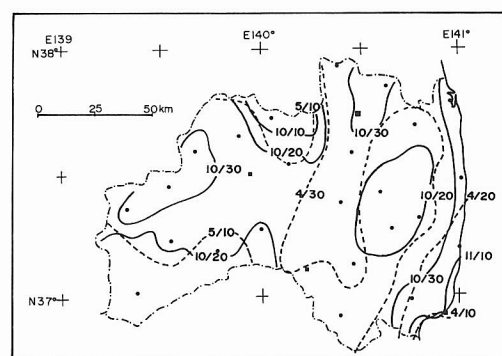


図11 霜の初日(実線), 終日(破線)の分布